

福井県医療審議会	資料2
令和2年11月6日(金)	

第7次福井県医療計画の進捗について (2018～2023年度)

第7次福井県医療計画の進捗状況（がん）

- <目標>
- ①がんの年齢調整死亡率（75歳未満）：10%減少
 - ②各がん毎の検診受診率：50%
 - ③各がん毎の精密検査受診率：90%
 - ④成人喫煙率：12%に減少（2022年まで）

<現状> ①がんの年齢調整死亡率（75歳未満）

	策定時(H28)	現状(H30)	2021年（目標）
年齢調整死亡率 (人口10万人対)	71.8人	66.7人	63.9人

②がん検診受診率

平成30年度がん検診（70歳未満）の実施状況（福井県独自調査）

種別	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
H29受診率(%)	37.7	75.1	44.9	41.9	48.4
H30受診率(%)	34.8	75.4	45.7	42.4	47.3

③がん精密検査受診率

平成28年度がん精密検査受診状況（地域保健・健康増進事業報告）

種別	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
H27受診率(%)	81.5	77.4	73.3	76.3	89.8
H28受診率(%)	85.3	75.3	71.8	86.0	90.8

④成人喫煙率

平成23年：16.2% → 平成28年 20.9%（県民健康・栄養調査）

第7次福井県医療計画の進捗状況（脳卒中）

①脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法適用患者への実施件数 目標：全国平均以上を維持

年度	福井県	全国
計画策定時（H27年度）	89件（11.1件／人口10万人対）	（10.5件／人口10万人対）
現状（H29年度）	118件（14.9件／人口10万人対）	13,967件（10.9件／人口10万人対）

②脳梗塞に対する脳血管内治療の実施件数 目標：全国平均以上を維持

年度	福井県	全国
計画策定時（H27年度）	54件（6.7件／人口10万人対）	（6.3件／人口10万人対）
現状（H29年度）	71件（8.98件／人口10万人対）	11,332件（8.87件／人口10万人対）

③地域連携クリティカルパス実施医療機関数（H30.11～R1.10） 目標：急性期7、回復期18機関

医療圏	急性期病院名（パス発信件数）	回復期病院名（パス受信件数）
福井・坂井	済生会病院(106)、県立病院(136)、福井赤十字病院(156)、福井大学附属病院(99)	大滝病院(67)、嶋田病院(178)、福井厚生病院(40)、福井総合病院(73)、福井リハビリテーション病院(22)、藤田神経内科病院(1)、春江病院(53)
奥越		福井勝山総合病院(8)
丹南	公立丹南病院(20)	木村病院(64)、高村病院(2)、林病院(8)
嶺南	市立敦賀病院(12)、公立小浜病院(14)	泉ヶ丘病院(16)
計	7箇所	12箇所

④地域連携クリティカルパスの実施医療機関（急性期病院）での適用率 目標：25%以上

医療圏	H27.11～28.10	H28.11～29.10	H29.11～30.10	H30.11～R1.10
福井・坂井	29.1%	32.1%	36.1%	33.3%
奥越	0%	0%	0%	0%
丹南	12.5%	7.7%	10.4%	16.7%
嶺南	6.0%	5.0%	7.2%	7.1%
計	23.2%	25.0%	27.9%	27.4%

第7次福井県医療計画の進捗状況（心筋梗塞等の心血管疾患）

①来院から閉塞冠動脈の再灌流（Door to Balloon）までに要した平均時間 目標：90分以内

②紹介患者に対する冠疾患・心不全地域連携クリティカルパスの運用率 目標：30%以上

※②については導入初期の心不全パスを含むため、調査方法を見直し予定

（単位 ①：分、②：%）

区分	医療圏	医療機関名	①PCI実施までに要した時間			②紹介患者に対する運用率
			H28(策定時)	H30	R1	R1
急性期病院	福井・坂井	済生会病院	84	73	87	
		県立病院	85	98	75	○
		福井循環器病院	73	73	42	
		福井赤十字病院	73	79	78	
		福井総合病院	61	75	62	○
		福井大学附属病院	84	82	81	
	丹南	中村病院	53	49	59	
	嶺南	市立敦賀病院	90	91	76	
		公立小浜病院	85	139	119	
			平均	76.4	84.3	75.4

※ ○は目標達成

第7次福井県医療計画の進捗状況（糖尿病）

- <目標>
- ①特定健康診査受診率：70%
 - ②特定保健指導受診率：45%
 - ③尿中アルブミン検査実施件数（人口10万人対）：全国平均以上
 - ④70歳未満の糖尿病性腎症による新規透析導入患者数（70歳未満人口10万人対）：減少
 - ⑤透析予防指導管理を実施する医療機関数：10カ所以上
 - ⑥糖尿病連携手帳等を活用して連携している医療機関の割合：40%以上
 - ⑦糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数：毎年100人以上取得

<現状>

	計画策定時	現状	備考
①特定健康診査受診率	48.9%(H27)	52.6%(H29)	
②特定保健指導受診率	22.5%(H27)	24.8%(H29)	
③尿中アルブミン検査実施件数 （人口10万人対）	1,321件(H27) （全国平均1,627件）	1,225件(H29) （全国平均1,826件）	
④70歳未満の糖尿病性腎症による 新規透析導入患者数（70歳未満人口10万人対）	14.9人(H28)	10.5人(R1)	
⑤透析予防指導管理を実施する医療機関数	8箇所(H29)	10箇所(R1)	嶋田病院、林病院
⑥糖尿病連携手帳等を活用して連携している医療機関の割合	28.9%(H29)	39.4%(R1)	
⑦糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数	103人取得(H29)	66人取得(R1)	

第7次福井県医療計画の進捗状況（精神疾患）

<目標>

- ①長期入院患者数（1年以上）：982人
- ②入院後1年時点での退院率：90%以上
- ③退院後3か月時点の再入院率（1年未満入院患者）：20%以下
- ④退院後3か月時点の再入院率（1年以上入院患者）：37%以下
- ⑤認知症サポート医：59人
- ⑥災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊の登録数：4チーム

<現状>

	計画策定時	現状 令和元年度末
①長期入院患者数（1年以上）	1,195人	1,047人
②入院後1年時点での退院率	90%	92%
③退院後3か月時点の再入院率（1年未満入院患者）	22%	16%
④退院後3か月時点の再入院率（1年以上入院患者）	44%	32%
⑤認知症サポート医	43人	62人
⑥災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊の登録数	2チーム	5チーム

第7次福井県医療計画の進捗状況（小児医療）

- <目標>
- ①#8000子ども医療電話相談件数：6,000件以上／年
 - ②小児救急夜間輪番病院制参加病院の夜間の受診者数：減少
 - ③保護者向けの小児救急講習会の開催：17回以上／年
 - ④小児死亡率：全国値以下
 - ⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数：2名／年

<現状>

	計画策定時	現状	備考
①#8000子ども医療電話相談件数	6,592件 (H28年間実績)	7,795件 (R1年間実績)	
②小児救急夜間輪番病院制参加病院の夜間の受診者数	10,007人 (H28年間実績)	9,188人 (R1年間実績)	
③保護者向けの小児救急講習会の開催	12回 (H28年間実績)	16回 (R1年間実績)	
④小児死亡率	25.5 (H28年間実績)	17.3 (H30年間実績)	(H28 全国平均 22.1) (H30 全国平均 21.1)
⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数	H29 累計3名	R1 2名 (累計8名)	

第7次福井県医療計画の進捗状況（産科(周産期)医療)

- <目標>
- ①周産期死亡率：4.0以下（出産千対）
 - ②新生児死亡率：1.0以下（出生千対）
 - ③乳児死亡率：2.0以下（出生千対）
 - ④妊婦健診取扱施設での健診率：20%以上
 - ⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数：2名／年

<現状>

	計画策定時(H28)	現状(H30)	備考
①周産期死亡率（出産千対）	4.2	3.6	妊娠満22週以後の死産＋生後1週未満の死亡
②新生児死亡率（出生千対）	1.3	0.3	生後4週未満の死亡
③乳児死亡率（出生千対）	2.6	1.4	生後1年未満の死亡
④妊婦健診取扱施設での健診率	11.6%	12.2%	市町の第1回の妊婦健診受診者における健診取扱施設（分娩施設除く）での健診率
⑤災害時小児周産期リエゾン養成者数	累計2名	R1年 2名 (累計8名)	災害時小児周産期リエゾン養成研修受講者数(現在 産婦人科医4名・小児科医4名)

<参考>

年		昭和60	平成2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30
周産期死亡率	全国	15.4	11.1	7.0	5.8	4.8	4.2	4.1	4.0	3.7	3.7	3.7	3.6	3.5	3.3
	福井県	14.9	9.8	8.0	7.4	4.0	2.9	5.6	4.6	4.3	4.5	4.5	4.2	2.9	3.6
新生児死亡率	全国	3.4	2.6	2.2	1.8	1.4	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	福井県	4.0	3.5	2.5	2.6	1.3	1.2	0.4	1.3	0.9	0.8	0.3	1.3	0.9	0.3
乳児死亡率	全国	5.5	4.6	4.3	3.2	2.8	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.9	1.9
	福井県	7.3	4.8	5.3	3.7	2.8	2.2	1.8	2.1	1.9	1.9	1.8	2.6	1.9	1.4

第7次福井県医療計画の進捗状況（救急医療）

<目標>

- ①重症以上傷病者の搬送において、医療機関に4回以上受入れの照会を行った割合 目標：1%未満
- ②救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間 目標：全国3位以内
- ③心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数 目標：全国平均以上
- ④心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後の社会復帰率 目標：全国平均以上

<現状>

- ①重症以上傷病者の搬送において、医療機関に4回以上受入れの照会を行った割合

医療機関名	H27			H28			H29		
	件数(件)	割合(%)	全国順位	件数(件)	割合(%)	全国順位	件数(件)	割合(%)	全国順位
重症以上傷病者	15	0.4	5	22	0.7	8	21	0.6	8

- ②救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
本県平均	28.2	28.9	29.9	30.3	30.1	30.5	31.3	31.6	31.9	32.3	34.0
全国平均	35.0	36.1	37.4	38.1	38.7	39.3	39.4	39.4	39.3	39.3	39.5
全国順位	6位	6位	5位	3位	3位	3位	3位	3位	3位	4位	9位

- ③心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数
H30実績：1.03件／人口10万人対（全国平均1.60件） ※福井県H29:1.66件

- ④心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後の社会復帰率
H30実績：10.0%（11人／110人）（全国平均9.1%） ※福井県H29:8.2%

第7次福井県医療計画の進捗状況（災害時医療）

- <目標>
- ①DMATチーム編成数：25チーム、統括DMAT隊員数：16名
 - ②DMATインストラクター数：6名、ロジスティックチーム隊員数：6名
 - ③DPAT先遣隊編成数：4チーム
 - ④災害時小児周産期リエゾン養成者数：2名／年
 - ⑤業務継続計画（BCP）策定率：災害拠点病院100%
 - ⑥災害医療調整機能を組み入れた訓練・研修の実施：3回／年

<現状>

	計画策定時		現状		備考
①DMATチーム編成数 統括DMAT隊員数	H29	23チーム 14名	R1	24チーム 18名	
②DMATインストラクター数 ロジスティックチーム隊員数	H29	1名 6名	R1	2名 8名	
③DPAT先遣隊編成数	H29	2チーム	R1	5チーム	
④災害時小児周産期リエゾン養成数	H29	累計3名	R1	2名 (累計8名)	
⑤業務継続計画（BCP）策定率	H29	55.6%	R1	100.0%	
⑥災害医療調整機能を組み入れた 訓練・研修の実施	H29	3回／年	H30	4回／年	<ul style="list-style-type: none"> ・中部ブロック合同防災訓練 ・国民保護図上訓練 ・災害医療現場研修 ・災害医療本部研修

第7次福井県医療計画の進捗状況（へき地医療）

- <目標> ①嶺南地区の巡回診療：継続実施
 ②へき地拠点病院からへき地診療所への代診医派遣：全ての要請に応じて派遣

<現状> ①公立小浜病院による無医地区等巡回診療実施状況

無医地区名		29年度			30年度			元年度		
		回数	患者数	1回平均患者数	回数	患者数	1回平均患者数	回数	患者数	1回平均患者数
		(回)	(人)	(人)	(回)	(人)	(人)	(回)	(人)	(人)
若狭町	西浦	24	344	14.33	24	361	15.04	24	340	14.17
	奥杉山	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	河内	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小浜市	堅海	24	154	6.42	24	143	5.96	24	98	4.08
	上根来	24	129	5.38	24	115	4.79	24	94	3.92
	宮川	24	28	1.17	24	23	0.96	23	21	0.91
高浜町	音海	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日引	24	38	1.58	19	34	1.79	12	24	2.00
計8地区		120	693	5.78	115	676	5.88	107	577	5.39

②へき地診療所への代診医派遣回数（派遣要請への対応率100%）

へき地医療拠点病院名	29年度	30年度	元年度
福井県立病院（支援機構）	11	15	11
公立丹南病院	7	6	1
公立小浜病院	5	1	2
福井県済生会病院	2	0	1
計	25	22	15

第7次福井県医療計画の進捗状況（在宅医療）

- <目標>
- ①訪問診療を受けた患者数：3,392人/日（2023年）
 - ②訪問看護の利用者数：15%増（2016年：5,207人⇒2023年：5,988人）
 - ③介護支援連携指導を受けた患者数：15%増（2015年：3,677人⇒2023年：4,228人）
 - ④在宅ターミナルケアを受けた患者数：15%増（2015年：257人⇒2023年：296人）

<現状>

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R元)	基準年比
①	2,638人	2,996人	2,958人	3,095人	3,128人	104.4%
②	4,801人	5,207人	5,802人	5,827人	6,366人	122.3%
③	3,677人	4,884人	4,781人	※4,470人	4,320人	117.5%
④	257人	295人	291人	※436人	449人	174.7%

※③、④の2015～2017年はNDBオープンデータの値、2018年はレスプトデータ6か月分を2倍したものであり、単純比較できない。

<参考> 訪問診療の地区ごとの患者数推移（2016年=1とした場合）

